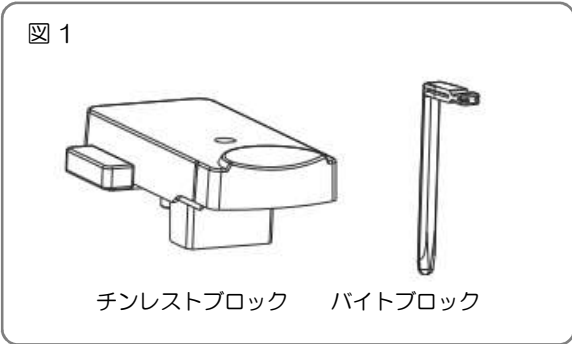
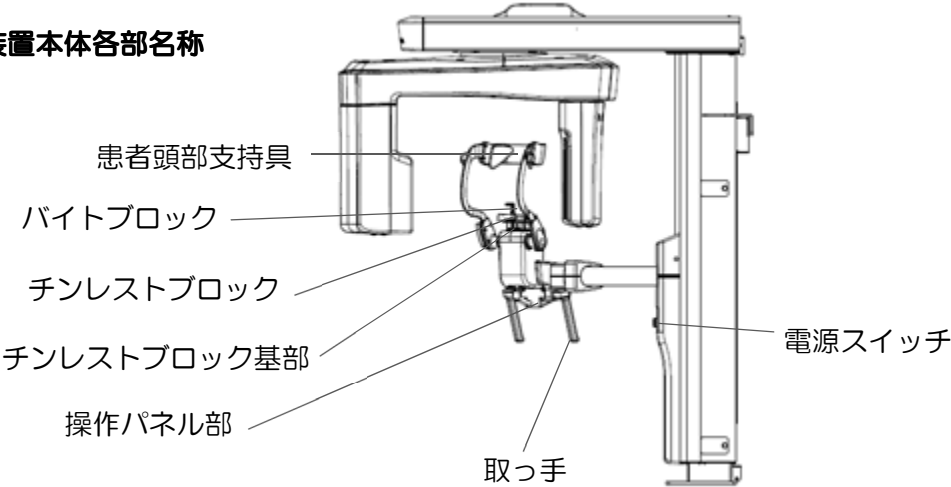
 警告

1.撮影中は患者を常に監察し、危険と判断したら直ちに撮影を中止してください。

2.位置付けビームは、目への悪影響の無い程度の出力（Class1）ですが、直視しないでください。

装置本体各部名称




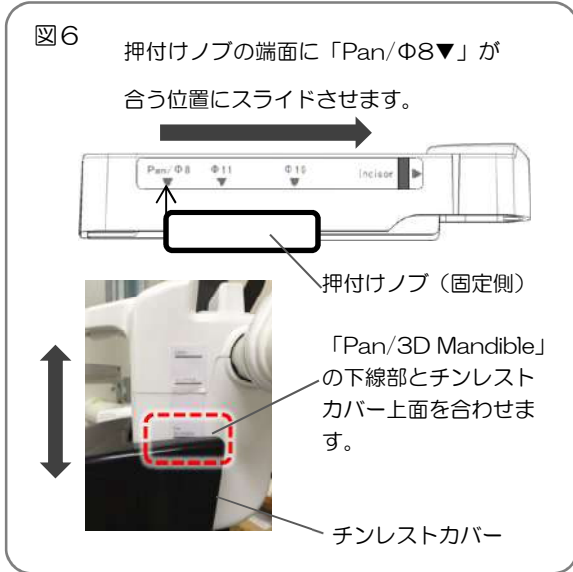
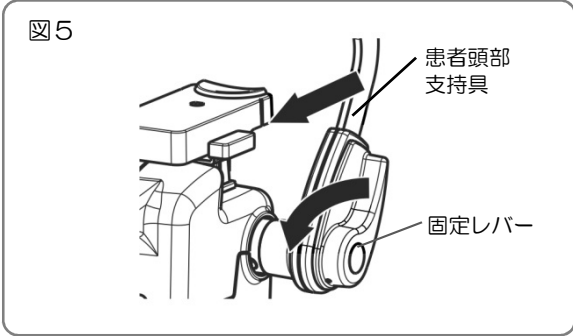
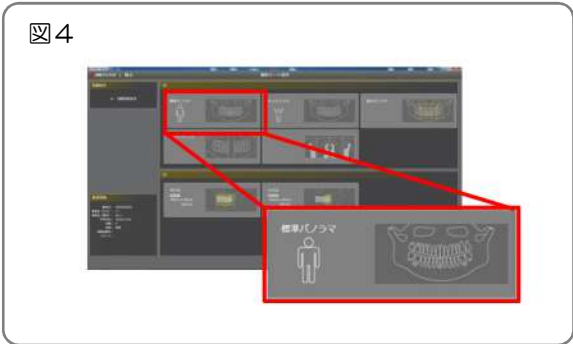
1. 本体準備

チンレストブロック・バイトブロックを用意し、本体電源を入れます。(図 1)



注記：装置がセファロ付き 1 センサ式タイプの場合は、センサがドッキングステーション部（パノラマ）に取り付けられロックされていることを確認してください。

2. 患者選択


- アクションゲートを起動して患者検索画面を表示します。
 - 患者検索画面に、これから撮影する患者の ID を入力して **Enter** をクリックします。(図 2)
 - メイン画面の左上に入力した ID に該当する患者が表示されます。
 - 患者名を確認した後、Menu の「Xera 撮影」  をクリックし、ONESYSTEM の撮影モード選択画面を表示します。(図 3)
- 補足：Trophy ビューアをお使いの場合は、同時に Trophy ビューア画面が表示されます。

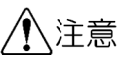


3. 撮影設定

- ONESYSTEM 撮影モード選択画面が表示されたら、撮影モードをクリックしてください。図 4 では、例として「標準パノラマ」  を選択しています。(図 4)
- 操作パネルの「RESET」  を押して下さい。


4. 患者導入

- 患者頭部支持具の固定レバーを緩め、患者頭部支持具を前方に傾けます。(図 5)
- 補足：患者頭部支持具の左右位置が中心にあることをご確認ください。
- チンレストブロックを取り付け、「Pan/Φ8▼」マークと押し付けノブの端面を合わせます。(図 6)
- バイトブロックを取り付けます。
- チンレスト高さを最上位置にあわせます。
- 患者を導入します。背筋を伸ばし取っ手を軽く握り、バイトブロックの溝を噛むように指示します。(図 7)
- 操作パネルの「BEAM」  を押すと、位置付けビームが点灯します。



注意

- 1. X 線（レントゲン）撮影は有資格者が行ってください。無資格者の X 線撮影は法律により禁止されています。
- 2. 患者には X 線防護エプロンを、子供の場合は更に甲状腺保護衣を着けてください。
- 3. 妊婦あるいは妊娠の疑いのある患者への使用は避けてください。
- 4. センサ着脱時にはセンサの取っ手をしっかり持って落下させないようにしてください。センサが落下すると故障の原因になります。
- 5. チンレスト位置は必ず、撮影モードに適した位置に設定してください。それにより、正しい患者位置付けを設定することが出来ます。

**警告**

1.撮影中は患者を常に監察し、危険と判断したら直ちに撮影を中止してください。

2.位置付けビームは、目への悪影響の無い程度の出力（Class1）ですが、直視しないでください。

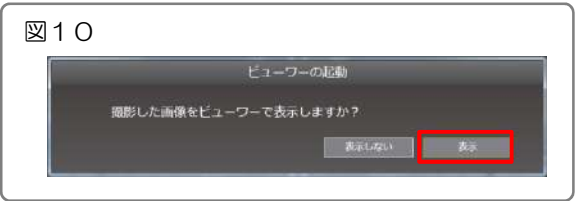




5. 位置づけ（図8）
- 患者の正中矢状線を正中マークと合わせます。
 - 本体を昇降してフランクフルト平面と眼耳ビームを平行にします。
 - 前歯部根尖（目安は下顎3番中央）と前歯部断層域マークを合わせます。


6. 固定
- 額押さえを額にフィットさせ固定レバーで固定します。（図9）
- 補足：ヘッドバンドは使用しないで下さい。

7. 撮影
- ×線照射スイッチを押し、撮影を行います。

8. 画像転送～保存
- ONESYSTEM 2D ビューアをお使いの場合—
- 撮影後、「完了」ボタンをクリックすると、確認ダイアログ（図10）が表示されますので、続けて診断される場合は「表示」 をクリックしてください。



- Trophy ビューアをお使いの場合—
- （1）断層調整や画質設定を行わずに画像転送する場合
- 撮影画像取得画面の左上隅にある「Drag」アイコン  をマウス左ボタンで Trophy ビューアのビューア画面にドラッグします。画像がビューアに転送されます。（図11）
 - 「完了」ボタンをクリックし、ONESYSTEM 撮影画像取得画面を終了します。
- （2）断層調整または画質設定を行ってから画像転送する場合
- 「断層調整」ボタン をクリックし、断層調整画面を起動します。（図12）
 - 断層調整または画質設定を行います。
 - 撮影画像取得画面の左上隅にある「Drag」アイコン  をマウスの左ボタンで Trophy ビューアのビューア画面にドラッグします。画像がビューアに転送されます。（図13）
 - 「完了」ボタンをクリックし、ONESYSTEM 断層調整画面を終了します。

**注意**

1. X線（レントゲン）撮影は有資格者が行ってください。無資格者のX線撮影は法律により禁止されています。
2. 患者にはX線防護エプロンを、子供の場合は更に甲状腺保護衣を着けてください。
3. 妊婦あるいは妊娠の疑いのある患者への使用は避けてください。
4. センサ着脱時にはセンサの取っ手をしっかり持って落下させないようにしてください。センサが落下すると故障の原因になります。
5. チンレスト位置は必ず、撮影モードに適した位置に設定してください。それにより、正しい患者位置付けを設定することが出来ます。